



救急疾患症例検討会の紹介

当院では、これまで救急疾患症例検討会を月 1 回の割合で開催してきました。地域の医療機関の方も参加して頂けるオープンカンファレンス方式です。

平成 22 年 10 月 19 日――

- ①頭痛の鑑別
- ②臀部の皮膚の色調変化と疼痛を認めた事例

平成 22 年 11 月 24 日――

- ①心室性頻拍症
- ②重症肺炎

平成 22 年 12 月 15 日――

- ①右李肋部痛を主訴とした胸膜炎
- ②門脈ガス血症

平成 23 年 1 月 19 日――

- ①アニサキスの 1 例
- ②入院が必要となった TIA の 1 例

平成 23 年 2 月 17 日――

- ①ブルガタ様心電図症例
- ②腹腔内遊離ガス像（Free Air）症例



平成 23 年 3 月 16 日――

- ① X 線写真にて診断が困難であった骨折症例

平成 23 年 4 月 21 日――

- ①早期の手術を必要とした急性僧帽弁閉鎖不全症
- ②子宮外妊娠

以上、「この症例は知っておかなければならない疾患である」「この疾患は見逃してはならない症例である」「この症例の診断は難しいが、この点に注意すれば大丈夫である」などをテーマに今後も開催する予定ですので、参加希望の方は地域医療連絡室までお問い合わせください。



肝臓病教室の報告

平成 23 年 5 月 21 日(土)に「肝臓」をテーマに第 6 回肝臓病教室を開催しました。肝臓

癌の中には、肝臓から出てくる原発性肝臓と、肝臓以外の癌から飛んでくる転移性肝臓があり、原発性肝臓の中には肝細胞癌と胆管細胞癌があります。一般的に肝臓というと、肝細胞癌のことを指しますが、それぞれの違いとその治療法等を分かりやすく解説いたしました。

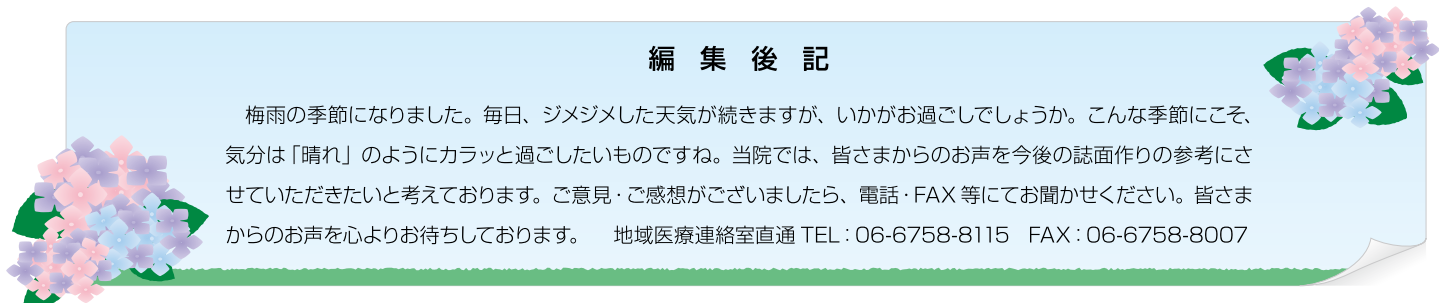
当日は多くの患者さまやご家族の方々に参加いただき、ありがとうございました。今後も 3 ～ 4 ヶ月に一度開催す



る予定ですので、参加希望の方は地域医療連絡室までお問い合わせください。

編集後記

梅雨の季節になりました。毎日、ジメジメした天気が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。こんな季節にこそ、気分は「晴れ」のようにカラッと過ごしたいものですね。当院では、皆さまからのお声を今後の誌面作りの参考にさせていただきたいと考えております。ご意見・ご感想がございましたら、電話・FAX 等にてお聞かせください。皆さまからのお声を心よりお待ちしております。 地域医療連絡室直通 TEL：06-6758-8115 FAX：06-6758-8007



はぐくみ

医療法人 育和会 育和会記念病院

育和会記念病院 介護老人保健施設 ひまわり 〒544-0004 大阪市生野区箕北3丁目20番29号 TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 http://www.ikuwakai.or.jp/ 〒544-0012 大阪市生野区箕西2丁目9番31号 TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

「現代病」としての泌尿器疾患について

平成 16 年 4 月にわたくしが当院に着任し、泌尿器科を開設してからは 7 年目となりました。病院スタッフ他皆様のお力添えと近隣の先生方の御紹介により入院・外来患者数も順調に増えてきています。育和会記念病院の周辺は高齢化の進んでいる地域であり、泌尿器科疾患を有する患者様は多いとの印象を受けています。そこでこの場をお借りして、「現代病」とまでは言い過ぎかもしれませんが最近増加傾向にある泌尿器疾患をいくつかご紹介したいと思います。

〈1〉尿路結石症

当院は救急病院なので尿管結石の疝痛発作で多くの患者様が搬送されて来ます。腎・尿管・膀胱または尿道結石症は近年増加傾向にあると報告されています。尿の成分が結晶となって析出し、それが蓄積して結石となるこの疾患は、原因として本人の体質以外に食生活の変化、気候の温暖化と都市型のライフスタイルなどが指摘されています。腰痛、腹痛などの症状があり来院されるケースもありますが、時に無症状のまま水腎症が進行し、まれには感染を併発して緊急処置が必要となる場合もあり早期発見と適切な治療が重要であることはいうまでもありません。8mm を超えるような大きな結石では内服による結石の消失は期待出来ず、手術療法による結石除去が主体となっています。主たる手術療法である体外衝撃波結石破碎術(ESWL)と内視鏡的治療である経尿道的結石破碎術(TUL)は当院でも早期より導入しており、それぞれ 100 例以上の症例を蓄積しています。尿路結石症の予防はなんといってもこまめな水分摂取と、バランスの取れた食生活が大切です。

〈2〉過活動膀胱(Overactive bladder: OAB)

まだまだ馴染みのうすい疾患名ですが、強い尿意を中心として頻尿、尿失禁を伴う症状症候群であり、最近患者数が急増しています。典型的な症状は、尿が膀胱にそれほど溜まっているわけではないのに突然強い尿意が出現し、トイレに駆け込まなくてはならないというものです。この疾患はいますぐ生命にかかわるものではありませんが、患者様の生活の質を大きく低下させるので最近 CMI にも取り上げられるようになりました。原因として加齢によるものや様々

な神経疾患が挙げられますが、食事やライフスタイルの影響も考えられています。治療は抗コリン剤や漢方による内服治療が一般的ですが、当院では副作用のない電気治療(干渉低周波治療器:ウロマスター)を導入して多角的な治療を行っています。また、頻尿・尿もれに悩む女性には、女性のドクターも対応しておりますので(水・金・土の AM)気軽に受診してください。

〈3〉前立腺癌

天皇陛下も長年闘病されているのがこの疾患であり、最近では間寛平氏が世界一周マラソン中に治療を受け無事帰国したことで話題になりました。日本では人種的な影響で欧米に比べてその発生率は低いのですが、近年次第に罹患率が上昇傾向にある癌の 1 つです。上昇の原因としては、食生活の欧米化(高脂肪食がリスクとして挙げられています)とともに、PSA 健診の広がりにより発見率が高まったことも考えられます。この疾患に特徴的なのは、癌の中でも進行が比較的緩徐なものが多く、ホルモン治療(男性ホルモンをブロックする)によく反応してコントロール可能な場合があるということです。早期発見はまず採血による PSA 検査と直腸診、MRI などが有用なので 50 歳以上の男性は一度採血してみてください。当院でも増加傾向にある疾患の 1 つです。当院では確定診断のための前立腺生検は腰椎麻酔下に 2 泊 3 日で施行しております。

これ以外にも泌尿器疾患は多岐にわたり、特に脳血管障害や糖尿病に伴う排尿障害を有する患者様も増加傾向にあります。高齢男性の前立腺肥大症も近年良い薬がどんどん開発され多角的な治療が可能となりましたが依然手術療法も有効です。若年者の膀胱炎や性感染症(STD)も当院でもしばしばみられる疾患です。本年 4 月から大阪市大泌尿器科医局より鎌田良子医師が新たにスタッフとして加わり、現在泌尿器科は 2 人体制で診療を行っています。これからも泌尿器疾患のプライマリーケアをしっかりと行える診療体制作りを目指してゆこうと考えておりますので、皆様のご協力宜しくお願い致します。



育和会記念病院
泌尿器科部長
山本晋史
やまもと しんじ

新任医師紹介



本年 4 月より育和会記念病院の泌尿器科に赴任いたしました鎌田良子と申します。兵庫医科大学卒業後、大阪市立総合医療センターで 2 年間臨床研修医を就業し、大阪市立大学附属病院泌尿器科医局に入局し 2 年間勤務しておりました。尿路系腫瘍、尿路結石症、排尿障害など、泌尿器全般の臨床について日々勉強の毎日でございます。また、泌尿器科の女性医師数はまだまだ少なく、今まで泌尿器科受診を躊躇われていた女性患者様にも受診のきっかけになればと思っています。

今後は地域医療に貢献できるよう励んでいく所存でございますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

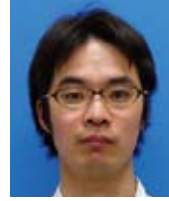
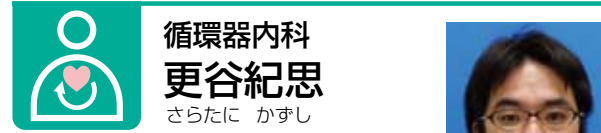


本年 4 月より育和会記念病院の整形外科に赴任いたしました金田宗也と申します。平成 12 年に近畿大学医学部整形外科に入局し、関節リウマチ、外傷など整形外科一般の治療を勉強させていただきました。今後はいままでの経験を少しでも生かせたらと考えております。いままでは、大学病院でのみ診療、治療をおこなってまいりましたので、地域医療の現状など把握できていませんでした。

今後は少しでも地域医療に貢献ができるように、日々努力し、全力をつくす所存でありますので、ご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

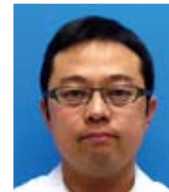


本年 4 月から育和会記念病院の研修医として勤務させていただくことになりました任起弘と申します。平成 23 年 3 月に近畿大学を卒業し、1 年という短い期間ですが、呼吸器・



本年 4 月から育和会記念病院の循環器内科に赴任いたしました更谷紀思と申します。平成 16 年に近畿大学を卒業、その後近畿大学医学部附属病院循環器内科へ入局し、循環器疾患を中心とした診療に携わってきました。

今後も循環器疾患の診療を行い、循環器内科医としての知識と技術の習得に励んでいく所存です。また、地域医療に貢献できるよう微力ですが頑張っていきたいと考えていますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本年 4 月より育和会記念病院外科で勤務させていただくことになりました中本と申します。

平成 13 年に和歌山県立医科大学を卒業後、大阪市立大学消化器、乳腺内分泌外科に入局し現在まで外科医として消化器癌、乳癌、急性腹症等の診療に携わってまいりました。平成 18 年より 2 年間、育和会記念病院でお世話になっており、貴重な診療経験をつまさせていただきました。その後 3 年間、大阪市立大学医学部附属病院で勤務し、今回、2 回目の赴任となります。

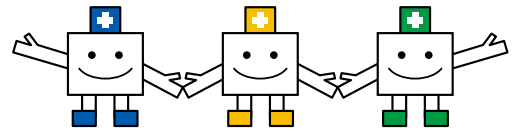
今後も一般外科医として微力ではありますが、地域医療に貢献していけるよう全力をつくす所存でございます。ご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

消化器・外科・麻酔科・救急をローテイトさせていただきます。

まだまだ新米ですが、1 日も早く医療現場の環境に慣れ、たくさんの症例を経験し、少しでも地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思いますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

近隣の先生方の紹介

病診連携でお世話になっている診療所の先生方をシリーズでご紹介します



大川内耳鼻咽喉科 大川内 一郎



耳鼻咽喉科・アレルギー科
(めまい・心療内科・咽喉頭異常感症)

大阪市生野区巽東 1-5-27 エレガンスライフ巽 102
 TEL 06-6757-8460



診 療 時 間	月	火	水	木	金	土
9:45 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
16:00 ~ 19:30	○	△ 手術日	○	○	○	

※平日午後診の受付は 7:30 までです。

特 色

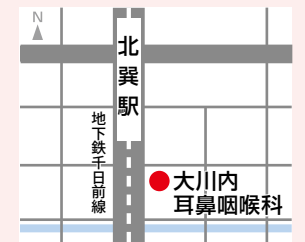
特にファイバー等はコンピューター モニター連動により詳しく説明させていただきます。

検 査

アレルギー全般(検査)、アルゴンプラズマ照射装置、ファイバースコープ、聴力検査・めまい検査

診療に対するモットー

最先端でこそぞす



はたまクリニック 畑間 昌博



内科・外科・胃腸科

大阪府東大阪市衣摺 2-15-4 TEL.06-6736-0696



診 療 時 間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
17:00 ~ 19:30	○	○		○	○	

特 色

患者さまに満足していただける様わかりやすく、ていねいな説明を心がけています。

検 査

胃カメラ、エコー(腹・体表)、レントゲン、心電図、各種血液検査

診療に対するモットー

アットホームな雰囲気です。往診、在宅医療も可能ですので、ご相談ください。

